

研究課題名	小児近視進行抑制治療における眼軸長変化を用いた治療効果および費用の比較検討
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提 供する場合その方法）	近年、小児近視は世界的に増加しており、将来的な強度近視や近視性黄斑症、網膜剥離などの視機能障害のリスク因子として注目されています。そのため、単に眼鏡やコンタクトレンズで視力を矯正するだけでなく、近視進行そのものを抑制する治療の重要性が高まっています。現在、オルソケラトロジー、低濃度アトロピン点眼や併用など近視進行抑制治療が実臨床で行われていますが、治療効果や費用負担には違いがあります。このたび当院では、小児近視に対する各種近視進行抑制治療を受けた患者さんを対象として、1年間の眼軸長変化および治療費用について比較検討することを目的に臨床研究を行うことといたしました。
研究対象者	2019 年 6 月～2026 年 6 月までに受診した、近視抑制治療対象小児
利用又は提供する試 料・情報の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：生年月、性別、年齢、治療開始前後眼軸長測定値、各治療にかかる費用
研究予定期間	機関の長の実施許可日 ～ 2026 年 10 月
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者 の範囲	この研究は府中病院 府中アイセンターのみで行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は機関の名称	府中病院 医療診療部 氏名：三島 壮一郎
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはございません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	府中病院 府中アイセンター 氏名：坂川 祐太 〒594-0076 大阪府和泉市肥子町 1-10-17 TEL：0725-43-1234（代）